

杉戸支部ニュース

医療生協さいたま杉戸支部



編集・発行 新井康江 宮38-3930

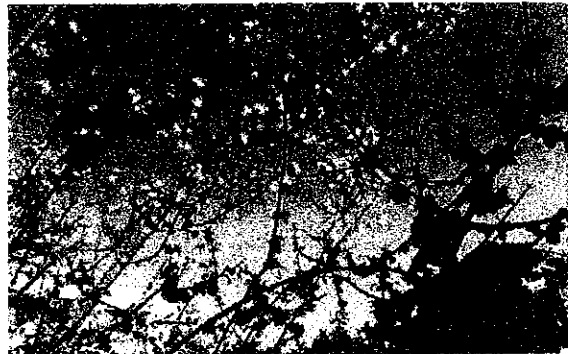
【運営委員会】

虹のとびら

260号 2022年2月1日

支部テーマ みんなで見守り ひとりぼっちをなくそう

2月3日節分、4日立春です。立春とはいえまだまだ寒く春には程遠い状況



です。温かい春がやってくるのが楽しみです。節分には豆まきをする風習があります。皆さんの家では、豆まきを行っていますか？夕方になると「福は内 鬼は外」の声が聞こえてきましたが、最近はあまり聞こえてきません。ちょっぴり寂しい気もします。今年は豆まきをしようと思っています。

福が舞い込み良い一年になって欲しいものです。

「虹のとびら」260号をお届けします。

春の地域別総代・支部代表者会議開催

利根南地区の総代会が2月15日10:00~11:30 越谷市民活動支援センターで開催され、下記の事が審議されます。総代の寺田さん、中里さんが出席します。よろしくお祈りします。

記

- (1) 2021年度基本方針の到達と2022年度重点課題
- (2) 2022年度組合員活動のポイント
- (3) 第3四半期決算報告
- (4) 各地の建設計画の進捗状況報告
- (5) 埼玉協同病院リニューアル・新病院建設の進捗報告

暮らしと平和を守る杉戸宮代地域総行動にご参加を!!

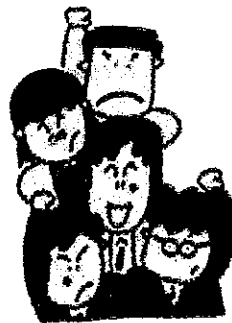
例年中央公民館で集会を行い駅までパレードを行ってきましたが、中央公民館が改築工事のため使用できず、宮代進修館わきのスキップ広場で行うことになりました。夜しかも外という悪条件での行動なので集会だけを行うことになりました。

日時：2月24日(木)午後6時30分~7時10分

場所：宮代町進修館わきスキップ広場

内容：基調報告、メッセージ紹介、参加団体紹介

※例年通り軽食が支給されます。是非ご参加ください!



杉戸宮代共同センター 平和企画展「コロナと平和憲法」講演会 1/16(日)



講師 本田宏さん

本田宏さん(NPO 法人医療制度研究会副理事長)を講師に50名の参加で開催されました。「新型コロナウイルス危機で明らかになった日本の医療」のお話などをして頂きました。

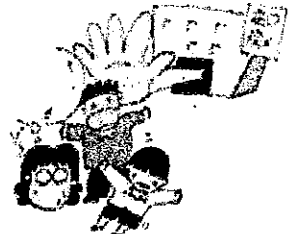
日本の集中治療ベッド数不足、医師の絶対数不足、院内感染の真因は要員不足、感染専門医不足だった。

患者と病院は青息吐息なのに、日本の薬価は高く営業利益率も高く製薬会社が儲けている。

また、日本の学校は考えない人間を生み出している。

暗記、苦手、制服、規則、団体行動を押し付けて考えさせない。覚えると考えるは別。高い学費と低い給付制度奨学金受給で日本の教育費はとても低い。

また、日本のメディアは自ら疑問を抱き問題を掘り起こすことはなく、何かしらのお墨付きが出たところで報じる。これでは「発表ジャーナリズム」と言われても仕方がない。...ということで、本当の事を学びました。



「まん延防止等重点措置」の適用に伴う組合員活動の制限についてのお願

期間：1月19日(水)~当面の間

制限内容

会議や委員会などの定例会議は行いません。「けんこうと平和」支部ニュースの仕分けや配布は厳密な感染対策のもと従来通りとします。支部活動やボランティア活動も原則中止とします。皆さまのご協力よろしくお願いします。



2022年度組合員活動のポイント

1 スローガン：未来の医療生協さいたまに残す「新しい歴史」を作ろう!

- (1) 健康づくり・まちづくりをすすめる
健康づくり・フレイル予防を進め、困ったに寄り添い誰一人取り残さない平和な社会をつくる。
- (2) 事業を支える
医療生協を強く大きくし、事業について学習しながら利用につなげる。
- (3) 持続可能な組織をつくる。
医療生協を広く知らせ、次の世代にバトンを継ぎともに活動する仲間をふやす。

